

## 宮崎大学に情報戦略室と情報支援センターを設置 (情報化推進組織の整備)

—新しい情報組織の設置で、機能的・効率的に教育研究と大学運営に対応—

情報戦略室長 情報支援センター次長 津野 和宣

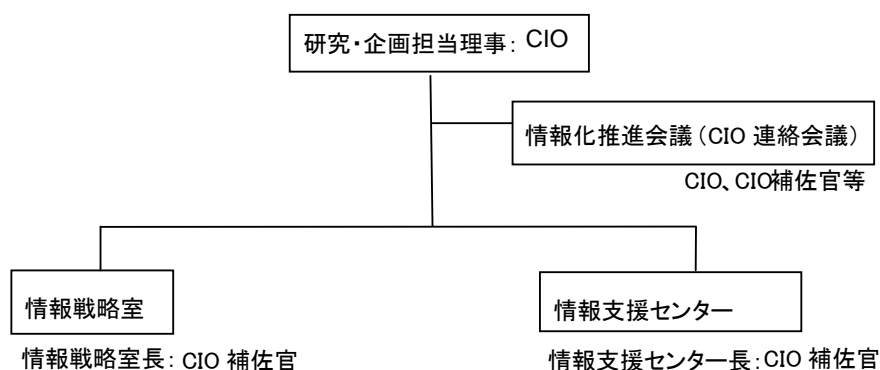
### 「先進情報化社会に対応した新しい組織体制の整備」

今日、大学の取り扱う「情報」の内容は急速に多種多様化してきており、学生や教職員等の個人に関わるものから、教育研究や組織としての活動や運営に関わるものまで広範囲に渡る。これら多様化・増大する情報はより効率的でローコストな運用管理が求められるとともに、個人情報保護や情報セキュリティ対策の観点から以前にも増して適正な取扱いが要求されている。

また、教育・研究・地域貢献等を進めるにあたり、大学が有する情報資源の充実と情報の高度で多面的な活用により、教育・研究の高度化、知的財産の形成及び生産性の向上を図ることが求められている。

これらの課題に対応するため、宮崎大学では「宮崎大学における情報化推進基本構想(平成18年10月)」を策定し、この基本構想に基づいて「情報戦略室」及び「情報支援センター」を新たに設置する。

これらの組織はCIO(情報化統括責任者)の下に配置して、機能を十分に発揮させながら、本学全体の情報化推進業務を担う。また、「情報化推進会議」を設置し、両組織の業務調整や業務点検を行うとともに、本学の情報化の適切かつ円滑な推進を目指す。



### 「情報戦略室」

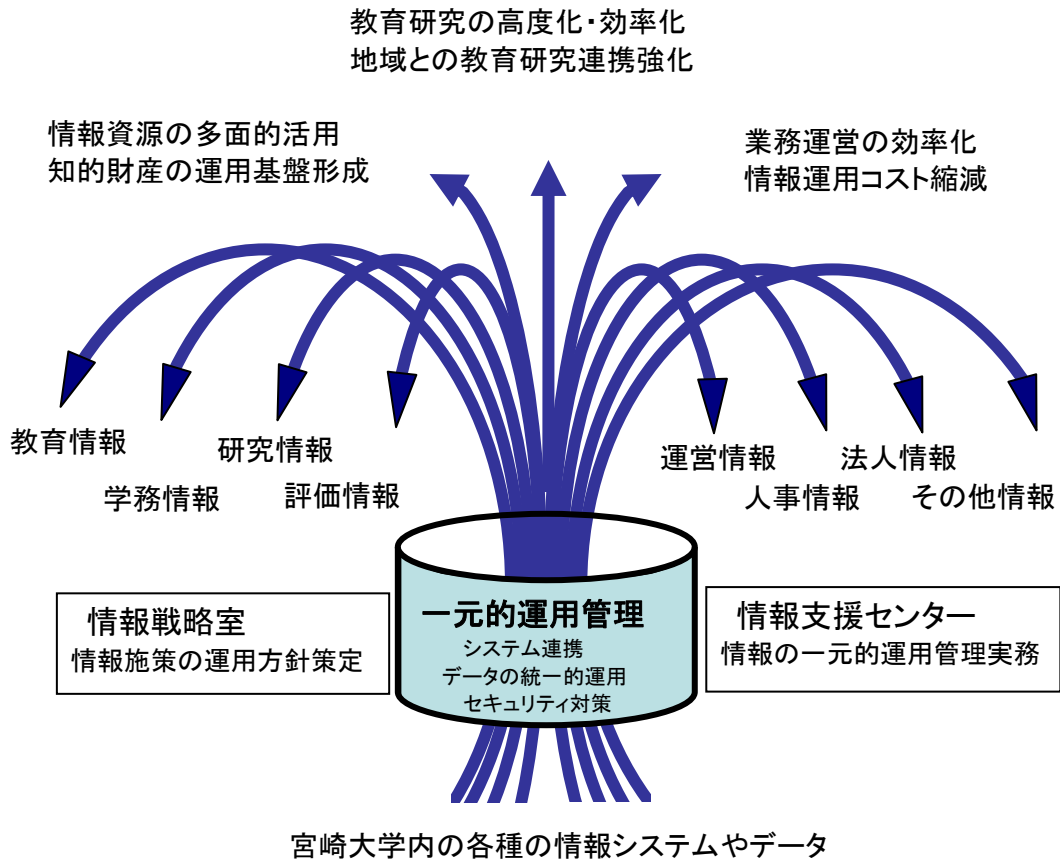
情報運用に関わる方針の策定、ポリシー及び情報施策の立案・策定及び情報運用の点検・検証を行い、本学における情報化を戦略的に推進する。

### 「情報支援センター」

情報運用方針・構想に従って情報基盤、情報システム等の運用管理の実務を行うとともに、情報利用者支援を行う。情報支援センターには、当面、「情報基盤・システム運用部門」、「運営情報部門」、「教育・メディア情報部門」、「研究・学術情報部門」、「評価情報部門」の5部門を置く。

### 「目指す成果」

「情報戦略室」及び「情報支援センター」の両組織が連携して、情報関連業務の効率化・適正化に係る課題、情報の運用管理における課題等を解決することにより、本学の情報利用基盤の整備充実、情報サービスの向上、情報資源の利活用能力の増進、業務遂行能力・効率の向上、コスト・労力の縮減等を目指す。



**「具体的な効果」**

- |       |  |
|-------|--|
| 学生    | 情報利用環境の充実整備、e-ラーニングによる教育推進、<br>教育用メディアの利用推進、キャンパス・ポータルへの推進<br>時間・場所を選ばない学習環境の整備推進        |
| 地域・社会 | 情報発信内容の充実と情報利便性向上、<br>高等教育コンソーシアムの遠隔教育推進、<br>遠隔公開講座の推進、地域との情報交換・連携強化<br>学術研究情報の発信機能強化、   |
| 大学運営  | 情報関連業務の効率化・適正化推進<br>情報利用基盤の整備充実と情報サービスの向上<br>情報資源の利活用能力の増進<br>業務遂行能力・効率の向上によるコスト・労力の縮減推進 |